

No.751 June 2019

ASAHIMACHI



📞 広報 あさひまち

2019
6

No.751

てっぺんからの眺めとともに
澄んだ空気をいただきます



台湾を代表する観光イベントに初出展

5月17日から20日の日程で開催された台北国際観光博覧会で、台湾からの旅行先として朝日町が大きくPRされました。

同博覧会は、台湾国内では上半期最大規模の観光展示会で、今回は4日間で30万人が来場。会場では旅行商品をはじめとする観光関連商品の展示と販売が行われました。

朝日町は、日本の旅行先を台湾の旅行会社に紹介するランドオペレーターである銀河インターナショナルのブースに参加してPR。ブース内で現地の旅行業者が朝日町を含む旅行コースを販売しました。

18日には川口幸男副町長がトップセールス。日本政府観光局のステージにて雪りんごやコテージをPRしました。他にもAsahi自然観光から成原支配人らが参加し、朝日町をPR。来場者は台湾では珍しい、りんごや雪がマッチングした雪りんごには特に興味を持たれたようでした。



歓声をあげながらの雪りんご掘り体験



ダチョウにも興味津々

台湾の旅行会社18社が朝日町を視察

5月31日から6月1日にかけて台湾の旅行会社による朝日町現地視察ツアーが開催され、町の観光スポットを巡った後に、Asahi自然観に宿泊しました。

同ツアーはランドオペレーターの銀河インターナショナルが台北市商業同業旅行公会と連携し、台湾の中小旅行会社を募集。町側からの誘致の話もあり、実現しました。同社の村山正弘代表取締役社長は「台湾人は変わったものを求めている、空気が澄んでいる、そういう意味では非常に面白い要素です。それに、台湾人は基本的にりんごが大好きで、雪りんご掘り体験の反応はすごくよかった」と話していました。

台湾の旅行会社18社の皆さんはすぐにでも販売したいと語っていました。

台湾旅行業 朝日町に大注目!

目次 CONTENTS

- P2 町長歳時記
- P3 Pick Up News
台湾旅行業 朝日町に大注目!
- P4 特集
棚田保全会の今
- P8 町政スポット
・モンゴルから日本語学習生が来町
・地区座談会「町長と語ろう」今年も開催
・町消防団春季消防演習
・農業指導士へ県知事から感謝状贈呈
- P10 6月5日は朝日町空気の日
- P12 まちレポ
・町小学校陸上競技記録会
・西村山中学校駅伝競走大会
・りんごの樹オーナー制開園式 ほか
- P16 桃色ウサビ 新ゆるキャラトレカ&目安箱登場
- P17 それいけ協力隊とウサビ、町立図書館コーナー
- P18 健康あさひるばんざい、朝日町エコミュージアムサテライト散策
- P19 戸籍のまど、となりのリンゴさん、町の主な行事・イベント
- P20 水本「菜の花観写祭 11」

表紙の写真



6月2日の空気まつりで、森林体験木のぼりクラブ（西澤新地代表）による「木登りツリーイング」が開催されました。ツリーイングは1本のロープで、女性や子どもでも簡単に木登りができます。表紙の写真は広報担当が一番上まで登り、カメラを落とさぬよう恐る恐る撮影したものです。

森林体験木のぼりクラブでは、一緒に活動するメンバーを募集中です。興味のある方は shinji_goe@yahoo.co.jp へお問合せください。

町長歳時記 (153)

時代を築く、 生きている実感

～困難な状況に感謝できる
前向きな生き方～

「世の中に、問題・課題が無く、平穩無事に世々つつがなく、安逸に暮らし続けるなどということは、まずあり得ない」と心得ておくと、意外とピンチに直面した時も、むしろやる気満々で、事に当たっていくことができるものです。

寝ても覚めても、「忙しい、忙しい」を連発しながら、一向に物事が進まない、などということも、ままあります。しかし、言葉というものは不思議なもので、そんな時、やるべきことがたくさんあり、生き生きと前向きに充実した時間を送っていると考え、現にそれを口に出し「いやー、やるべきことが山ほどあり、充実している。いやむしろ充実しすぎています」と言葉を変えただけで、実益も飛躍的に伸ばすことができ、なおかつ、心身ともに非常に快適に取り組むこともできます。

思い悩み考え、山積する問題・課題に押しつぶされそうになることもあるかもしれませんが。しかしそんな時、ふと自分の視点を天に向け、そこから自分を見下ろしてみると、健気ががんばる自分の姿に、「あー、一生懸命やっている。健康で元気に生きていればこそ、問題課題に必死に取り組むことができるのか」「これこそ、生きている実感を享受しているということなのだ」「生きているってすばらしい」とむしろ、困難な状況に感謝できる、そんな前向きな生き方が大切だと思います。

そしてこんな生き方こそが「時代を築いていく」ということではないかと思えます。

朝日町長 鈴木浩孝



棚田保全会会長
志藤寛一さん
(能中)

保全会を通して活動することで、気持ちを1つにして棚田を守っていくという協力がものすごく強くなったと思います。自分たちだけだとマンネリ化してしましますが、外部の保全隊の力を借りると他の人の目を意識し、荒らしてはならないという気持ちがわいてきます。

町外から来る人には整然と耕作されている景色にお褒めの言葉をいただきますが、一時期は棚田の真ん中に耕作放棄地ができ、他の耕作者3人で土地を買い取って景観を守ったりなど、維持管理に苦労したこともありました。



▶「棚田チケット」
収穫祭の時に米や
りんごと交換できる

棚田保全会の歩み
榎平の棚田は、平成11年に日本の棚田百選に選定されました。しかし、選定された当時の棚田は荒廃と農家の田んぼ離れが進む状況にありました。そんな中、平成15年に米価の低迷、農家の高齢化などによって、耕作放棄地が発生したことをきっかけに設立されたのが棚田保全会です。耕作者と民間非営利団体(NPO)、行政が一体になった組織体制を構築しました。



▲「一本松公園」棚田の全容を見ることができ、季節ごとに移り変わる水田の色模様を楽しむことができます

れ、委員会の活動を支える農産加工グループ「棚田ママの会」が発足。一本松公園のヒメサユリの保護増殖にも取り組みました。平成17年には新しいビュースポットとして「第二展望台」を整備。その活動は、第一回美の里づくりコンクールで農村振興局長賞を受

賞しました。6月第1土曜日には、一本松公園でのヒメサユリまつりが始まり、今日まで続いています。
棚田での各種農作業、草刈り、農道・水路の維持補修などに協力する「榎平棚田保全隊員」を平成18年に募集し、現在は約100人、8割以上が町外の隊員です。活動内容に応じて「棚田チケット」がもらえ、農産物と交換できるシステムが好評を得ています。

また、景観価値を付加した「棚田米」の共同販売にも乗り出しました。「棚田米」の販売先は順次拡大し、出荷組合である榎平米生産組合から、静岡県熱海市など4つの卸業者への販路を確保。「棚田米」は稲刈り後の杭掛けによる天日乾燥、減農薬などが注目され、付加価値販売につながっています。

近年は全国的なイベントでの活動もあり、平成24年には東京ビッグサイトにて開催された日本最大級の環境展示会であるエコプロダクツに参加。会員のほか耕作者や町職員を含めた約10人が、都市住民へ直接情報発信しました。また平成26年には全国棚田サミットの現地見学コースに選ばれ、当日は約200人の来場がありました。平成28年にも新潟県佐渡市で開催された全国棚田サミットに約30人参加し、他自治体の取り組みや現地の視察を行ってきました。

日本の棚田百選とは

棚田は、立地条件を生かした農業生産の場となり、急峻な地形を巧みに利用した生産活動を通じて、国土・環境の保全、農村の美しい原風景の形成、伝統・文化の継承など多面的な機能を発揮してきました。このように、健康的でゆとりある生活を確保する上からも大きな役割を果たし

ていることから、棚田の保全や保全活動を推進し、農業農村に対する理解を深めるために、農林水産省が平成11年に選定しました。

- (1) 営農の取り組みが健全
- (2) 棚田の維持管理が適切
- (3) オーナー制度や特別栽培米の導入など地域活性化への取り組み

以上の3点が選定基準となっており、各県から推薦を受けた棚田の中から、学識経験者により構成される「日本の棚田百選」選定委員会により選ばれます。

全国では134地区、県内では榎平のほか大蔵(山辺町)、四ヶ村(大蔵村)が選定されています。

特集 榎平の棚田 日本の棚田百選選定20周年記念

棚田保全会の今

耕作放棄地の発生を契機に、地域住民の協働による保全活動を行うため、平成15年に組織された榎平棚田保全活動推進委員会(通称棚田保全会)。
今までは、日本の棚田百選選定20周年として、棚田保全会のこれまでの歩みと現状について、榎平の棚田の歴史を交えつつ特集します。

棚田の始まり

榎平の棚田が開田されたのは戦時中の昭和17年。耕作地には田んぼも一部には存在しましたが、昭和期のはじめころまで養蚕が盛んなことから、桑畑だった一帯を戦時中の食糧確保策として開田したのが始まりとされています。昭和21年に榎平の棚田は完成しましたが、山々の地形的特徴から、水の供給が課題でした。

棚田には一番高い位置の扇の先端部分に用水路を巡らし、所要所分分水させ田んぼ全体を潤しています。その水源は、棚田からはや離れた野々山という山の油子沢で、能中地区住民が手掘りした隧道部分約300メートルを含め、約600メートルの水路から供給されています。

しかし、この水路は上流部にあった水田が耕作放棄された事情もあり、一帯の保水力が落ちたことなどが影響して細り気味となっています。そのため現在は、棚田南側下を流れる最上川からポンプアップした水で補っています。

令和元年度ヒメサユリまつり

6月1日、榎平の棚田で空気まつり協賛事業「ヒメサユリまつり」と榎平棚田保全会の美化活動が行われました。棚田と景観を守る保全会の活動は今年で14回目。区民と町内外の保全会員約50人が、一本松公園と第2展望台の草刈りを実施しました。その後開催されたヒメサユリまつりには、一般の方を含めて約150人が来場。昼食に棚田ママの会の皆さんが調理したおにぎりや笹巻き、山菜汁や手作りの漬け物などがふるまわれ、参加者は美しい里山の景色とともに味わっていました。



▶まつり前日から蒸らしていた笹巻き
当日も朝早くから山菜汁やおにぎりを料理



榎平の棚田写真コンテスト作品 大募集!

主催 榎平棚田保全活動推進委員会

募集期間

令和元年6月1日～10月25日

テーマ

榎平の「棚田や農村風景」で、地元住民が見て「うれしい、楽しい」写真

応募資格・応募作品

プロ・アマ問わず、どなたでも応募可
未発表作品1人3枚まで応募可

発表・表彰

発表は11月下旬予定
表彰式は12月7日の収穫感謝祭にて行います。
最優秀賞1点、優秀賞3点、入選5点
入賞者には「榎平の棚田米」や「町特産りんご(ふじ)」を贈呈

応募先・問い合わせ先

榎平棚田保全活動推進委員会事務局 水土里ネット朝日町
TEL 0237-67-3616 / FAX 0237-67-8040
E-mail: asahinet@bz.plala.or.jp



榎平棚田保全隊 大募集!

応募資格

年齢 中学生以上
性別 不問
経験不問 体力のある方大歓迎

入隊金

作業保険掛け金として1人1,000円

問い合わせ先

左記と同様

棚田保全隊員の声



阿部紀秋さん
(山形市在住)

Q. 保全隊に入ったきっかけは。
A. 写真を撮りに来たのがきっかけです。7年前に、杭掛けしていたところを写真撮らせてくださいと言ったら、写真撮るなら手伝ってと言われて(笑)、それから今までずっと来ています。
Q. 保全隊に参加してよかったことは。
A. 手伝っているから写真が自由に撮れるところですね。誰からも文句言われないからね。
Q. 保全隊の仕事はどのような感じですか。
A. あくまでボランティアだから、自分の体力や時間に合わせてできるのが良いところ。お金もらって来てるわけじゃないので気楽に楽しくできるし、収穫祭の時にいろいろもらえるのも嬉しいですね。

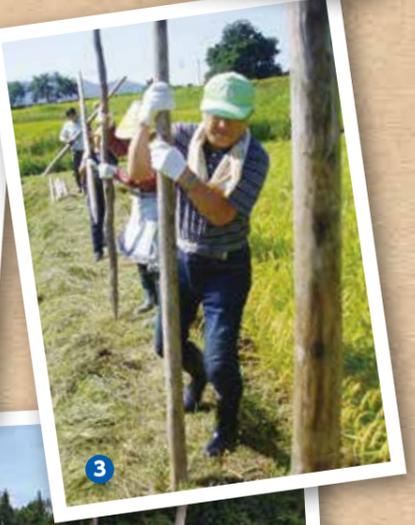


三浦健一さん
(山形市在住)

Q. 保全隊に入ったきっかけは。
A. 幻の左荒線のバスツアーで朝日町に来たのが最初です。その時撮ったヒメサユリがきれいだったので何度も通うようになりました。そうして何度も通って地元の人と触れ合う中で勤められて入りました。
Q. 朝日町のどんなところが気に入りましたか。
A. 私は朝日町の写真を撮ってまとめているのですが、景色と、それからやっぱり接する人ですね。気さくなところと親しみやすさなんだと思います。
Q. 保全隊の仕事はどのような感じですか。
A. 最近は、秋の作業は子どもや孫の行事が重なってしまいなかなか来なくて、この時期にしか来れなくて残念です。それでもあたたかく迎えてくれて参加しやすいです。

棚田保全隊年間活動

- 6月 環境整備…①
ヒメサユリまつり…②
- 9月 杭立て…③
稲刈り、杭掛け…④
- 10月 稲返し、脱穀…⑤
ヒメサユリ球根植え…⑥
- 12月 収穫感謝祭…⑦



日頃の訓練成果を披露 町消防団春季消防演習

■総務課 危機管理係 ☎67-2111



6月9日、町消防団の春季消防演習が創遊館駐車場を会場に開催されました。今年度は町議会選挙や関係者からの要望により、例年4月開催のところ6月開催となりました。

町民の安心と安全を守る町消防団。春季消防演習は、その日頃の訓練成果を披露するとともに、広く町民へ防火・防災を呼びかける、年に一度の祭典です。

演習には総勢約300人の団員が集結。小隊訓練や



小型・自動車ポンプによる模範操作、火災防ぎ訓練と分列行進が行われました。放水訓練では、可愛らしい法被姿の幼年消防クラブ（あさひ保育園年長組の皆さん）が訓練用の消防ホースで放水作業を実践。最後に元氣な声で「火の用心」を呼びかけました。続く火災防ぎ訓練では、火災を告げるサイレンとともに全車両隊が出勤。迫力の一斉放水が始まると、沿道に集まった町民からは大きな声援が送られていました。

指導農業士へ県知事から感謝状贈呈

■農林振興課 農林振興係 ☎67-2114



五十嵐平一郎さん（左） 鈴木俊昭さん（右）

先月、吉村知事より、長年にわたり本県農業をけん引してきた指導農業士への感謝状を贈呈された五十嵐平一郎さん（中沢）、鈴木俊昭さん（助ノ巻）が5月27日に朝日町役場に来庁し、町長に報告をしました。

山形県では、本県農業を先導する優れた農業経営者を育成・確保するため、先進的な農業経営を実践し、地域農業の振興と新規就農者の育成に意欲的に貢献できる農業者を、知事が「農業士」として認定しています。

「農業士」は「青年農業士」と「指導農業士」に分けられ、その中でも「指導農業士」は、

自己の農業経営が健全であることはもちろん地域農業のリーダー的な存在であり、農村青少年の指導、育成に関する篤志を有する農業者とされています。

五十嵐さんは平成16年度から15年間、鈴木さんは平成19年度から12年間指導農業士として、町の農業発展と若手農家の育成に尽力されました。

お2人は「私たちも諸先輩方にはお世話になったので、町に何かしらの恩返しをしたかった」ので指導農業士を引き受けました。多くの農業士と出会い、様々な情報交換ができたことが財産です」と語りました。

町の「農業士」は5月末現在「指導農業士」2人、「青年農業士」4人の6人が認定されています。今年度は「青年農業士」の3人が新たに認定されたものの、今年度末には「指導農業士」が1人退任されます。町では「指導農業士」を随時募集していきますのでお問合せください。

モンゴルから日本語学習生が来町

■教育文化課 学校教育係 ☎67-3302



右から日本語学習生のハースレン・ナサン・デレゲルさん、ツェゲメド・ビググマーさん、引率教員のドルジハンド・ミシグドルジさん

5月25日から30日にかけて、モンゴルから日本語を学ぶ16歳の学生2人とその引率者の合計3人が当町を訪れました。この度の来町は、日本とモンゴルの子どもたちとの交流事業を行う「ホランの会（東京都）」が企画。モンゴルの子どもたちは期間中町内の民家にホームステイし、うち3日間、朝日中学校へ体験入学しました。

初日の25日にはa1Lounge（アットラウンジ）でウェルカムパーティーが行われ、ホストファミリーの方々やホランの会の会員が3人を歓迎。パーティーではホストファミリー経験者からのアドバイスや思い出話、日本語学習生2人の日本語での自己紹介や、特技であるダンスの披露がありました。



ウェルカムパーティーでのダンス披露

27日から29日にかけては、3回目の受け入れとなる朝日中学校へ体験入学し、生徒たちと交流を深めました。技術の授業では、パソコンを使用し、名刺を作成。4時間で仕上げることが目標という課題でしたが、2人とも1時間ほどで印刷するところまで進み、器用にこなしていました。

（上写真）

2人は、朝日中の生徒たちと英語と日本語を交えながらコミュニケーションを取り、それぞれの文化の違いを学び合っていました。

地区座談会「町長と語ろう」今年も開催

■政策推進課 地域振興係 ☎67-2112



下芦沢地区での座談会の様子（5月27日）

今年で15年目を迎える「町長と語ろう」が、5月27日の下芦沢地区を皮切りに、町内全地区で開催されています。

今年度はテーマを設定せず自由な内容。地区や町での「旬な話題」や「困りごと」、町の施策「〇〇事業」についての説明、ご意見、ご提案等、何でも結構です。

元氣な朝日町をずっと続けていくためには、地域の皆さんの力が不可欠です。皆さんの地域への思いや、まちづくりへのご意見について、直接町長へ届けてみませんか。各地区の日程は、区長さんから配布される案内チラシをご覧ください。

6月5日は 朝日町 空気の日



1



3



4

◀▶各種イベントも大盛況。
①今年も特別ブースで展示会を開催するダイキン工業株式会社(大阪府) ②お茶会(交代の会) ③チェーンソーアート ④バルーンアートショー ⑤6月2日は浮島雅楽保存会の演奏に合わせて「みこの舞」(10頁の写真)を奉納



5



2



6

空気の恩恵に感謝 空気まつり (6/1・2・5)

空気まつりでは「空気」や「自然」にちなんだ多くの関連事業が行われ、年に一度、地下にある空気神社の本殿が一般公開されるほか、5m四方のステンレスでできた神殿上で、きれいな空気とブナの緑とともに「みこの舞」が披露されました。今年は晴天に恵まれ、3日間で約3,200人が会場のAsahi自然観を訪れました。



▲開会に先立ち、議員および町執行部全員で「町のきれいな空気に感謝」。空気神社の参拝方法に倣い、両手を広げて天をあおぎ、大きく深呼吸をした



▲卓上のブナの幼木は、議会終了後にブナの森散策会を行っている高田区へ寄贈される

「朝日町空気の日」にちなみ、町は町議会6月定例会を「空気に感謝する議会」として、様々な取り組みをしています。

6月4日から6日にかけて開催された議会定例会では、4日の本会議の開会前、空気に感謝する姿勢を示したほか、議員、町執行部ともに空気神社モニュメントを模ったネクストラップを着用。机上には町の木「ブナ」の幼木を置き、町をあげて「空気に感謝し、自然環境を大切にすまち」をPRしています。

町議会 6月定例会は 「空気に感謝する議会」



「空気の恩恵を人間は忘れていて、世界に先駆けて、わが町に空気神社を造ろう」――。

故白川千代雄氏(松程)が提唱したのは、昭和48年のことでした。その後、自然崇敬の高まりを願い、昭和63年に「空気神社建立奉賛会(故菅井敏夫会長)」が創設。平成2年、世界に類例のない環境モニュメント「空気神社」が白倉に完成しました。

町は平成4年3月、世界環境デーの6月5日を条例で「朝日町空気の日」に制定。「空気まつり」や各種取り組みを通じて、空気大切さを呼び掛けるとともに、自然豊かな町を広く発信しています。



5/10 仲間と力を合わせてつなぐタスキ
西村山中学校駅伝競走大会

西村山中学校駅伝競走大会が5月10日、秋葉山周辺で行われ、西村山地区の中学校7校の生徒が力走を見せました。コースは秋葉山交遊館からスタートし、大谷小学校の前を通って国道に出て、真中茶屋から大谷方面に戻ってくるといふもの。男子6区間 18.6キロ、女子5区間 12.4キロをタスキでつなぎました。朝日中学校は男子チームが第6位、女子チームが第4位と惜しくも県大会出場とはなりませんでしたが健闘を見せました。



5/12 ひとつひとつ丁寧に、花摘み作業に汗
りんごの樹オーナー制開園式

町特産のりんごのPRを目的に、樹1本・1口5万円でオーナーを募集する「りんごの樹オーナー制」。その開園式と摘花作業が5月12日、秋葉山交遊館および各園地で行われ、オーナーとその家族等約250人が参加しました。24年目を迎える今年は66口の申し込みがあり、うち新規が5口。開園式では1年間作業(約4回)をする樹を決定し、園主との顔合わせの後、昼食として山菜汁が振る舞われました。式の後には、それぞれの園地へ移動し、花摘み作業にさわやかな汗を流しました。



5/18 長距離競技のレベルアップ！
ジュニアマラソンクラブ開講

5月18日、ジュニアマラソンクラブが朝日中学校グラウンドで開講されました。町内長距離競技のレベルアップを図るとともに、競技に対するより深い理解と、個人の競技力向上並びに世代間交流を図ることを目的とする同組織。練習は5月18日～11月23日の毎週土曜日に行われ、この日も開講式が終わってから早速練習が始まりました。クラブでは途中からの参加も歓迎しており、希望する方は教育文化課までお問い合わせください。



5/18 子どもの足の大きさ知っていますか？
足育～足からはじめる健康づくり～

5月18日、あさひ保育園の保護者を対象にミズノ株式会社から講師を招き、「足育」についての講演会が行われました。会場のあさひ保育園には約120人の保護者が集まり、子どもが元気に過ごすために欠かせない足について学びました。講演会では、足に合った靴選びや指を地面につけて歩くことの重要性について話があり、保護者たちは、今回の講演で挙げられたインソール(中敷き)に興味深そうに触れていました。

ホームページに写真



5/15 小学5・6年生が自己ベストに挑戦
町小学校陸上競技記録会

| 5年男子 | 1位 | 記録 | 2位 | 3位 |
|-------|---------|--------|---------|----------|
| 100m | 安藤玲愛(宮) | 15秒5 | 小松蒼介(西) | 鈴木葵葉(宮) |
| 70mH | 小松蒼介(西) | 12秒8 | 安藤玲愛(宮) | 遠藤大樹(大) |
| 1000m | 鈴木葵葉(宮) | 3分48秒3 | 佐藤 翔(大) | 阿部琥太郎(西) |
| 走幅跳 | 小松蒼介(西) | 3m60cm | 安藤玲愛(宮) | 阿部拓飛(宮) |
| 走高跳 | 阿部斗舞(宮) | 1m05cm | 遠藤大樹(大) | 成原慎太郎(宮) |

| 5年女子 | 1位 | 記録 | 2位 | 3位 |
|------|---------|--------|---------|---------|
| 100m | 渡邊知奈(宮) | 16秒0 | 長岡 花(大) | 佐竹美夢(宮) |
| 70mH | 渡邊知奈(宮) | 13秒6 | 岸 華帆(大) | 佐藤羽華(宮) |
| 800m | 長岡 花(大) | 2分59秒3 | 渡邊日和(大) | 鈴木未来(西) |
| 走幅跳 | 岸 華帆(大) | 3m04cm | 佐藤羽華(宮) | 佐藤桃子(大) |
| 走高跳 | 堀 ニコ(大) | 1m06cm | 海野真穂(宮) | 渡邊知奈(宮) |

| 6年男子 | 1位 | 記録 | 2位 | 3位 |
|-------|---------|--------|---------|---------|
| 100m | 鈴木蓮音(宮) | 15秒3 | 近藤碧唯(宮) | 細谷叶汰(宮) |
| 70mH | 鈴木蓮音(宮) | 12秒5 | 細谷叶汰(宮) | 長岡 翼(大) |
| 1000m | 渡邊牙輝(宮) | 3分27秒2 | 近藤碧唯(宮) | 白田 玄(大) |
| 走幅跳 | 鈴木蓮音(宮) | 3m57cm | 長岡珠璃(大) | 佐藤隼磨(宮) |
| 走高跳 | 細谷叶汰(宮) | 1m24cm | 長岡 翼(大) | 阿部悠太(西) |

| 6年女子 | 1位 | 記録 | 2位 | 3位 |
|------|---------|--------|----------|-----------|
| 100m | 布施美羽(宮) | 16秒1 | 阿部ひゆり(宮) | 佐久間陽菜乃(大) |
| 70mH | 海野結菜(宮) | 13秒7 | 阿部ひゆり(宮) | 白田夏希(大) |
| 800m | 伊藤愛来(宮) | 3分2秒4 | 布施美羽(宮) | 伊藤麗来(宮) |
| 走幅跳 | 鈴木丹香(宮) | 3m28cm | 石塚友那(宮) | 阿部ひゆり(宮) |
| 走高跳 | 白田夏希(大) | 1m08cm | 海野結菜(宮) | 浅岡莉愛(宮) |

| 400mリレー | 1位 | 記録 | 2位 | 3位 |
|---------|-----------|-----------------------|-----|-----|
| 男子 | 宮宿A | 1分0秒6(大会新) | 宮宿B | 大谷A |
| | (宮宿Aチーム選手 | 鈴木蓮音・安藤玲愛・細谷叶汰・近藤碧唯) | | |
| 女子 | 宮宿A | 1分5秒1 | 宮宿B | 大谷A |
| | (宮宿Aチーム選手 | 渡邊知奈・伊藤麗来・阿部ひゆり・布施美羽) | | |

町小学校陸上競技記録会が、5月15日、西五百川小グラウンドを会場に行われ、町内3小学校の5・6年生105人が出場しました。必須種目の100m走と70mハードルのほか、走り幅跳び、走り高跳び、持久走(男子…1000m、女子…800m)の3種目の中から各自1種目にエントリーし、自己ベストを目指して奮闘しました。

当日は好天に恵まれ、男子400mリレーでは、昨年に続き大会新記録が更新され、記録更新を果たした宮宿男子Aチームには、特別なメダルが贈られました。





5/20 今年1年の心身の健康と活躍を誓う
町スポーツ少年団結団式

5月20日、町スポーツ少年団結団式および交歓交流会が町民体育館を会場に行われました。

今年は8団体約90人が参加。団員が一堂に会した結団式では、団員代表の遠藤悠平さん（大谷ジュニア剣道/栗木沢）が1年の健康と活躍を宣誓。結団式後は交歓交流会として、全団体対抗の長なわとび大会が開催されました。団員らは、仲間と息を合わせて縄を跳び、絆を深めています。



5/24 泥だらけでも、楽しく田植え
宮宿小学校5年生が田植え

5月24日、宮宿小学校の5年生32人が、同校前の実習田で保護者とともに田植えを体験しました。総合学習の授業の一環として町内の農家の協力で毎年実施。当日は曇一つない快晴に恵まれ、児童たちはぬかるみに足を取られ、中には全身泥まみれになりながらも歓声を上げ、もち米の苗を丁寧に植えていきました。秋には稲刈り、脱穀も体験し、その後餅つきを行う予定です。



5/26 町内外から若者が集まるカーミーティング
サマーオブザフック 2019

町へ若者を呼び込む新たな町おこしとして企画されたカーミーティング「サマーオブザフック 2019」が5月26日、Asahi自然観駐車場で開催されました。齋藤隆さん（本町）が主催し、学生時代の級友などと共に運営。6年目となる今年は約150台のエントリーがあり、遠方では千葉県からの参加もありました。こだわりの車がずらりと並び、圧巻の景色をひと目見ようと、会場は600人を超える町内外からの来場者で賑わっていました。



5/27 和気あいあいと交流
寒河江・西村山地区グラウンド・ゴルフ交流大会

5月27日、寒河江・西村山地区グラウンド・ゴルフ交流大会が見晴らしの丘グラウンド・ゴルフ場を会場に行われました。

毎年輪番で各市町で開催されているこの大会。今年は朝日町での開催で、1市4町から170人が参加。グラウンドも利用しての3コースを使用し、24ホールを回りました。

当日は30度を超える真夏日でしたが、体調を崩す人もなく、プレイ中はホールインワンに「おめでとう!」といった声も上がるなど、和気あいあいと交流を深めていました。

ホームページに写真



▲気合いの入った見事な1番
▶豪快に塩をまく両横綱



▲見事な「弓取り」の披露



▶参加者全員で両手を
広げて大きく深呼吸
▼ダイキン工業（株）から
は、大会賞品として空
気清浄器が贈られました



6/1 真剣勝負！白熱の取り組み
西五百川小すもう大会

町で唯一すもう大会を開催している西五百川小学校。60年以上続く伝統のすもう大会が6月1日、同校庭の土俵で行われ、児童たちが白熱の取り組みを繰り広げました。

地域の皆さんと先生方の指導のもと、毎日のように練習を繰り返してきた子どもたち。本番の取り組みは1・2・3年生の下学年、4・5・6年生の上学年ごとに「一本勝負」と「3人勝ち抜き戦」が行われました。全児童が東方西方に分かれ、勝ち星の数で競います。相手に負けまいと互いに歯を食いしばり、複数の取り組みで物言いが入るなど見応えのある接戦が続きました。

そして取り組みの一番は、上学年男子幕内、三役同士の一本勝負。両陣営とも譲らぬ白熱の取り組みの結果、今年激戦を制したのは東方となりました。優勝旗を手にした横綱が勝ちどきをあげると、児童たちは興奮冷めやらぬ中にも、お互いの健闘を笑顔でたたえあっていました。

6/2 「ミズノ杯」としてミズノ（株）が協力
町民グラウンド・ゴルフ大会

6月2日、町民グラウンドゴルフ大会ミズノ杯（春の陣）が、Asahi自然観グラウンドゴルフ場で開催され、町内から約80人が参加しました。

同大会は、町民グラウンドゴルフ協会（佐竹庄吉会長）主催で年2回（春・秋）実施しており、今回で52回目。昨年に引き続き、総合的なまちづくりで提携を結ぶミズノ株式会社の協力により、「ミズノ杯」として開催しました。

空気まつりのこの日、開会式では、参加者全員で空気の神の参拝方法に倣い、両手を広げて天を仰ぎ、大きく深呼吸した後、主催者らが始球式を行いました。

また、開会に先立ち行われたAsahi自然観グラウンドゴルフ場リニューアルオープン記念式典では、鈴木町長ほかミズノ株式会社東北支社の赤間支社長らがテープカットを行いオープンを祝いました。

参加者は時折休憩をはさみながら、新たに整備されたグラウンドゴルフ場で、はつらつとプレーを楽しんでいました。



桃色ウサビ 新ゆるキャラトレカ&目安箱登場

ゆるキャラグランプリ実行委員会（公式）が発行する「ゆるキャラトレカ（トレーディングカード）」で、当町の非公式PRキャラクター「桃色ウサビ」のカードが新しくなりました。カードはゆるキャラの所属自治体ごとに無料で配布され、キャラクターのPRやファンが地域（イベント）を訪れるきっかけづくりなどに活用されます。第1版が好評につき、5月31日から第2版の配布が始まりました。ぜひ手に入れてSNS等でご活用ください。



表は豪華なホログラム仕様（通称キラカード）
写真や説明は変わりましたが「かわいさ」は据え置き★1個



以前のカードは配布終了

- ◆カード配布場所
 - ・道の駅あさひまち（観光案内所）
 - ・あさひ旅のココロ館（町観光協会）
 - ・Asahi自然観
 - ・（附近）江屋
 - ・朝日町役場 政策推進課（2階）
- ◆問合せ先
 - 政策推進課 広報ブランド係
 - ☎671-2112



朝日町役場のエントランス（玄関）が改装され、ウサビと一緒に撮影ができるパネルが設置されました。こちらのパネルは一緒に撮影できるだけでなく、パネルのお腹部分が開いており、ポスト（目安箱）のようになっています。こちらにはウサビへのリクエストを募集しており、商品化してほしいグッズ・調べてほしいこと・ウサビについて知りたいことなどなど自由に投書できます。ウサビが投書を見ているので、ネタが採用されるかも?!

大募集



町地域おこし協力隊と桃色ウサビの「中の人」こと、佐藤恒平情報交流総合アドバイザーによる連載コーナー。日々の活動や朝日町での暮らしを語ります。

「様々な思いをのせて」

朝日町にぎわい創出推進員（地域おこし協力隊）

まさとみ
石井心宝（東京都出身）

潔感、居心地「化粧室」。つまり、トイレというよりは化粧室のように、雰囲気の良いも重視したいと思っています。電気、ガス、水道など大掛かりな工事を不要とするため、便器はバイオトイレというもので考えています。また、構造は木造で、金物をなるべく使用しないことで組み立て、解体、運搬を簡単にできるように考えます。

木造とする理由には、もう一つの狙いがあります。金物を使わず組み立てる大工さんの技術を残し、伝承していける表現の場をつくることです。現在、大工さんの技術を発揮できる仕事が減っていて、日本の優れた建築技術が残りにくくなっています。農園トイレをたくさん作り出せば、建築技術が表現できる場も増えていくはず。更にその先の展開では、外壁をキャンバスとして自由にペインティングするなど、アーティストたちの様々な表現の場にもしていきたいです。

朝日町にぎわい創出推進員の石井です。今回は現在行っている活動の一つとして、「農園トイレ」という取り組みをご紹介します。ある農家の女性とお会いしたとき、農園内にトイレが無いのが悩みだとお聞きしました。農地から自宅が遠いというところは、農家さんたちだけでなく、観光客にとっても問題であると感じました。そこで、私の建築設計の知識を活かして解決できる道を見つけないかと思い、実現に向けて動き始めました。やるからには、単なる「便所」ではなく、農家の女性にとって、価値のあるものになりたい。「清



▲石井隊員の考える農園トイレ

このように、様々な思いをのせて、何とか実現させたいと思っています。



町立図書館新刊案内

「検事の信義」 袖月 裕子 著



認知症の母を殺害して逮捕された息子の裁判を担当することになった、任官5年目の検事・佐方貞人。彼は、遺体発見から逮捕まで、空白の2時間があることに疑問を抱き……。心ふるわすリーガル・ミステリー全4編を収録。著者は、山形市在住。

「まめしば」 荒井 良ノキム ソクワウソク



こっそり豆知識を教えてくれるキャラクター「豆しば」の誕生10周年を記念し、日本を代表する絵本作家・荒井良ノキムが描いた絵本。身近な雑学をつぶやく「豆しば」に、思わずふき出す絵を添える。著者は山形市出身。

【M's他の新刊】

- ▼白鳳夢の森の少女／恒川光太郎
- ▼ていん島の記／仁木英之
- ▼この橋をわたって／新井素子
- ▼集団左遷／江波戸哲夫
- ▼銀行支店長／江波戸哲夫
- ▼天皇陛下・美智子さま祈りの三十年／森哲志
- ▼短歌くたさい 双子でも片方は泣く夜もある
- ▼穂村弘
- ▼医者が考案した「長生きみそ汁」／小林弘幸
- ▼捨てられない服／石田純子
- ▼彼女たちの場合は
- ▼江國香織
- ▼蒼色の大地／薬丸岳
- ▼ルボ私たちが生きた平成／共同通信社
- ▼牙アフリカジウの「密猟組織」を追って／三浦英之
- ▼宮中歌会始全歌集／宮内庁
- ▼美しい顔／北条裕子
- ▼平成ストライク／青崎有吾
- ▼百花／川村元氣
- ▼めぐり逢いサンドイッチ／谷瑞恵
- ▼悪の五輪／月村了衛
- ▼魔法を召し上げろ／瀬名秀明
- ▼夢見る帝国図書館／中島京子
- ▼失われた美風／藤原正彦
- ほか



【ブックテマコーナー】
「おすすめ！～山形県にゆかりの作家の作品 特集～」

戸籍のまど

Asahi town

5月1日～5月31日届出

Births

すこやかに

| 区名 | 出生児氏名 | 性別 | 保護者名 |
|----|--------|----|-------|
| 古楨 | 菅井 莉央 | 女 | 宏幸・詩織 |
| 大隅 | 白田 陽菜乃 | 女 | 拓也・早苗 |

Obituaries

やすらかに

| 区名 | 死亡者氏名 | 世帯主名 |
|-----|--------|------|
| 助ノ巻 | 佐藤 恵美子 | 光 広 |
| 四ノ沢 | 石塚 千代太 | 悦 雄 |
| 立木 | 阿部 みや | 和 芳 |
| 西町 | 浅岡 美和子 | 清二郎 |
| 前田沢 | 安孫子 重尚 | 千 恵 |
| 新宿 | 阿部 文一 | 文 彦 |

掲載を希望しない場合は
届け出の際にお申し付けください

こなのリンゴさん

(312)

ホリイ



町の主な行事・イベント (6月17日～7月16日)

- 7月 3日(水) 町小学校水泳記録大会
- 7日(日) きれいな川で住みよいふるさと運動
- 13日(土) 町民プールオープン
- 14日(日) 町民ソフトボール大会



昨年の様子：町小学校水泳記録大会

Population

人口と世帯数

●令和元年 5月31日 現在

※()内は先月比

| | |
|-----|----------------|
| 人口 | 6,796 人 (- 9) |
| 男 | 3,361 人 (- 6) |
| 女 | 3,435 人 (- 3) |
| 世帯数 | 2,401 世帯 (- 2) |

----- 5月中の異動 -----

| | | | |
|----|----|----|-----|
| 出生 | 2人 | 転入 | 10人 |
| 死亡 | 8人 | 転出 | 13人 |

(※外国人を含む)



ご存知ですか？ 乳歯の虫歯予防が大切な理由

【令和元年度 第3回】

今月の担当…古澤 美里 保健師



- ①食べたら歯みがきをする習慣を作る
- ②おやつ時間を決めて食べる
- ③子どもの仕上げ磨きを大人が行う
- ④かかりつけの歯科医院を持ち、定期的に受診する

◆費用 無料
◆持ち物 歯ブラシ・タオル
◆申し込み・問合せ先 健康福祉課 保健医療係
☎67・2116

みなさんは日頃、自身身や家族の歯の健康について関心を持っていますか。平成30年度において、1歳6か月児でむし歯のあった子どもは0人(29人中)、3歳児でむし歯のあった子どもは7人(38人中)でした。健康な歯を守るためには、乳歯の時期にむし歯にならないことが大事です。乳歯がむし歯になると永久歯にもむし歯がうつり、生え方にも影響し、歯並びが悪くなる可能性があります。歯並びが歯並びは発音にも影響が出ることがあります。また、むし歯になると噛む力が育たなくなり、あごの発達に影響が出ることがあります。むし歯にならないためには、

◆開催日時 12月6日 午前10時15分～11時15分
◆場所 子育て支援センターあさひ
◆費用 無料
◆申し込み・問合せ先 健康福祉課 保健医療係
☎67・2116

町ではもぐもぐ相談(離乳食相談)で、むし歯予防の講話、10か月児・1歳6か月児・3歳児の歯科健康診査の実施、生後10か月～4歳児のフッ素塗布の無料実施、あさひ保育園児のフッ素洗口の無料実施をしています。さらに、歯科衛生士による子どもの歯の健康相談では、仕上げ磨きの仕方などを学ぶことができます。家族みんなでむし歯予防に取り組み、健康な体づくりを心がけましょう。

町全体が博物館！ 朝日町エコミュージアム サテライト散策



【おすすめの季節】

春から秋の水路整備で、草を刈った後だと歩きやすい

第23回 和合堰

【DATA】古楨地内の取水口から送橋川右岸を通り、和合小原地内に出て根合田山の山麓を流れている。全長約4km。

昔、和合地区は、土地は平らでも水に恵まれていませんでした。作物を作るのに必要な水を得るため、送橋川中流の古楨地内に揚げ口を設け、断崖絶壁をほうように水路を開削し、元禄元年(1688)に和合堰が完成しています。その後、天保8年(1837)には堰守を務めていた菅井喜兵衛等が左沢の役所や古楨村に願って、堰路の拡幅・整備を行い、和合地区に豊かな用水が供給されるようになりました。

古楨から和合に至る山中の隧道等は見ることができないけど、古楨地内の揚げ口や、水路橋・送水管、和合地内の水路の様子から、昔の人々の苦労が伺えるんだよ。それに、送橋川に入る沢上川の上流、山辺町畑谷の奥にあり水源として祭られている五番御神酒湧水も訪れてみよう。

案内人のつぶやき





水本「菜の花観写祭 11」

5月12日、水本地内で「菜の花観写祭」が開催され、町内外から約100人が参加しました。地域住民等で組織する水本菜の花協議会（岡崎吉博会長）が主催。耕作放棄地の有効活用とまちおこしを目的に菜の花を栽培しており、毎年菜の花が見頃の時期に開催されているもので、今年で11回目となります。

菜の花畑前に設けられた特設ステージでは満開の菜の花と雄大な山々を背景に「送橋神明こぶし太鼓」（清野むつみ代表）が披露され、来場者を歓迎しました。

昼食には、来場者全員にワラビたっぷりの山菜汁が振る舞われ、参加者は満開の菜の花畑で存分に撮影会を楽しんでいました。



▲菜の花畑で披露された「送橋神明こぶし太鼓」。演奏後は試し打ちもできました

◀振る舞われた山菜汁。肉入りとサバ入りの2種類から選べます



日本の棚田百選に選定されてから今年で20年目となる「椹平の棚田」。特集中にもありますが、意外なことに棚田保全隊の内8割が町外の方となっています。保全隊の活動はボランティアのため、自分のペースで作業できるので、ちょっと興味があるという方でも気軽に参加できます。町内の方でしたら、棚田まで時間もかかりませんのでより参加しやすいのでは。少しでも興味のある方は登録してみたいかがでしょうか。

春夏秋冬
編集後記

まずは気軽に
写真撮影からでも

また、ピックアップニュースで取り上げている台湾からのインバウンド。雪りんご掘りの場に私も同席しましたが、台湾の方の喜びようが本当に凄かったです。言葉はわかりませんが、喜んでくれているのが伝わってきました。これを機に今後、インバウンドが拡大し、多くの方から足を運んでもらって、朝日町の良いところを知っていただきたいと思います。

鈴木 貴典